

平成 29 年度第 1 回太良町地域公共交通会議及び太良町地域公共交通活性化協議会  
会議録

会議の名称	平成 29 年度第 1 回太良町地域公共交通会議及び太良町地域公共交通活性化協議会
開催日時	平成 29 年 9 月 26 日（火）14：00～
開催場所	太良町役場 3 階 大会議室
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 町長あいさつ</p> <p>3 委嘱状交付</p> <p>4 報告事項</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）太良町地域公共交通網形成計画策定について 資料①：太良町地域公共交通網形成計画策定の概要等</p> <p style="padding-left: 20px;">（2）住民アンケートの結果、住民等との意見交換会の概要について 資料②：平成 28 年太良町移動サービスのあり方検討結果（抜粋・要約） 資料③：住民意見交換会の概要について</p> <p style="padding-left: 20px;">（3）見えてきた太良町の課題について 資料④：アンケート、意見交換会から見える主な課題・問題点</p> <p>5 協議事項</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）太良町の目指すべき地域公共交通について 資料⑤：将来像、具体的な取り組み、スケジュール</p> <p>6 その他</p> <p>7 閉会</p>
出席委員	<p>地域公共交通会議委員 20 名中 20 名出席：うち委任状 4 名</p> <p>地域公共交通活性化協議会 19 名中 19 名出席：うち委任状 4 名</p>
事務局	太良町役場 企画商工課 商工観光係
<p>1. 開会</p> <p>2. 町長のあいさつ</p> <p>3. 委嘱状交付</p> <p>4. 報告事項</p> <p style="text-align: center;">議事録署名人を指名。</p>	

(1) ～ (3) まで関連事項のため、事務局より一括にて説明

(1) 太良町地域公共交通網形成計画策定について

事務局より、太良町地域公共交通網形成計画策定の概要等を説明 資料①

(2) 住民アンケートの結果、住民等との意見交換会の概要について

事務局より、平成 28 年度太良町移動サービスのあり方検討結果の説明 資料②

事務局より、住民意見交換会の概要についての説明 資料③

(3) 見えてきた太良町の課題について

事務局より、アンケート意見交換会から見える主な課題・問題点についての説明

資料④

(1) ～ (3) での質疑

・ 委員

資料④の (2) で、「福祉巡回バスは「自宅～しおさい館」間の運行で、登録した高齢者のみの利用である。」とあるが、登録をしてもらっている訳ではない。しおさい館の利用者は誰でも利用できる。また「自宅～しおさい館」間ではなく、「町報でお知らせしている駐車場所～しおさい館」間で運行をしている。訂正をお願いしたい。

・ 委員

登録制でなければ、乗車場所にはバス停を設けているのか。

・ 委員（社会福祉事務局長）

バス停標識はないが、バスが停まる場所は町報でお知らせしている。

利用者は固定している。

どこでも停まると、民業を圧迫するため決められた場所でしか乗降させていない。

・ 事務局

内容を確認のうえ、必要ならば修正したい。

・ 採決にて、報告事項については承認。

5. 協議事項

(1) 太良町に目指すべき地域公共交通について

事務局より、将来像、具体的な取り組み、スケジュールについて説明 資料⑤

・ 委員

基本方針、将来像などよくまとめられている。

公共交通として使えるものは何でも使った方がよい。

福祉巡回バスを公共交通としてきちんと位置付をすることは重要である。

目標 2 の実施方針 2、3 が気になる。

実施方針 2 で、主要施設を巡りやすい公共交通ネットワークの形成とあるが、1 周するのに 1 時間もかかるバスは収益性が低い。短い距離で、動きやすいルートを作っていくほうが失敗は少ないと思う。自分の経験上、たくさんの施設を巡るバスは失敗する可能性が高いので、巡りやすいを使いやすいに改めて慎重に検討してほしい。また、幹線が生きるように枝線を作ることが軸になっていく。

実施方針 3 では幹線と生活路線の関係、乗り継ぎの拠点などまで、記載したほうがよい。

目標 3 で、町ホームページでの案内とあるが、もっといろいろなもので案内をしたほうがよい。

実際に乗ることを想定してマイダイヤを作成するなど。

・議長

わが町は県境の町。大浦地区の住民は、諫早市小長井町に買い物に出掛けることが多く、長崎のバスとの連携も考えなければならない。

・委員

具体的な取組の方向性の中で、ターゲットを絞るということは大事なことだと思うのだが、その中に学生というのがある。アンケートは 20 歳以上を対象としているので、学生のニーズは見えてこない。高齢者や観光客にターゲットを絞ったほうがよいのではないかと。

・事務局

太良高校の生徒のうち 150 人が町外から通学している実態がある。その生徒たちを無視はできない。JR を存続させていくためにも、この生徒たちの利便性も向上させなければならない。太良高校の生徒にバスを利用してもらえれば、JR の利用にも繋がるのではないかと考え学生も目標に入れた。今後、巖木にも太良高校と同じような目的の高校が出来ると聞いている。太良町の利便性が良くなければ、高校を選ぶ際に太良高校という選択がなくなるのではないかと考えている。

・委員

バスに荷物を載せて運ぶ貨客混載型というものがある。荷物を運ぶことで路線維持のための収益を少しでも確保する。1 つのアイデアとして考えてみるのはよいのではないかと思う。

・委員

夜間のタクシーや代行は考えていないのか。

・事務局

夜間のタクシーや代行は意見として聞いている。しかし一度に全部やるのは難しい。  
まずはコミュニティバスを走らせることが先決と考えている。

・採決にて、協議事項について承認。

協議事項の終了

6. その他

事務局

次回の協議会は日程を説明。

7. 閉会